

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	文化会館	係	事務事業No.	15122
事務事業名	勤労者福祉施設運営管理事業				会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち				款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進					
後期計画掲載頁	112	頁	個別計画	第6期社会教育計画	20	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	勤労者福祉施設運営管理を行い、生涯学習を実施するグループや団体の支援								
事業の目的	勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う								
事業内容	勤労者福祉施設(フレンドプラザ)の運営管理、貸館を行う								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費(決算額)		1,931 千円		2,089 千円		2,265 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		618 千円		685 千円		589 千円	
		一般財源		1,313 千円		1,404 千円		1,676 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	利用者回数	回	125	118	113	120	94.2%	120
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	利用者数	人	3,315	4,245	3,693	4,300	85.9%	4,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標) 北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターへの貸し出し							
【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	低い	低い	低い	重複なし	低い	改善の余地あり
		1	1	1	3	1	2
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	継続	他の施設と比べて利用が少ない。					
	評価点合計						
	9 / 18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	女性未来館 係	事務事業No.	15123
事務事業名	女性未来館ピュア一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	21 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要	女性の就労支援と、女性問題に関する啓発活動								
事業の目的	新規就業者、中途採用希望者を含む女性労働者、及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行うとともに、女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。								
事業内容	男女共同参画担当主催の「男女共同参画に関する学習会」への協力。就労支援につながる資格取得講座、ライフサイクルにあわせた女性の健康支援の講座や講演会、託児ボランティア活動の人材育成講座など、各種講座、講演会の実施。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,209 千円		1,860 千円		3,104 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,209 千円		1,860 千円		3,104 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	資格取得講座	コース	3	2	2	2	100.0%	1
	②	ボランティア養成講座	コース	1	1	1	1	100.0%	1
	③	健康増進講座	コース	1	2	3	2	150.0%	4
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	資格取得講座受講者	人	407	131	70	150	46.7%	50
	②	ボランティア養成講座受講者	人	65	31	53	50	106.0%	50
	③	健康増進講座受講者	人	54	216	281	200	140.5%	250
2. 数値で表せない効果		(指標②) ボランティア養成講座は、受講者自身の資質向上のみにとどまらず、市内各公共施設での講演会・講座などの行事での託児業務のできる人材育成につながり、子育て世代の世代の社会活動参加を促進した							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続				
	評価点合計	ボランティア養成講座は多くの受講者があり、託児ボランティア”バンビの会”会員へ登録し、活動を始めた方が多く、引き続き募集に力を入れたい。				
	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	女性未来館 係	事務事業No.	15124
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第6期社会教育計画		21 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	女性の社会参加につながる活動拠点の場をつくる。子育て支援事業を行う。								
事業の目的	女性のさまざまな活動のための拠点施設として活動の場を提供し、必要な助言を行い、女性の社会参加の促進を支援する。また、女性の多様化するライフスタイルの中、家庭と仕事を両立するための子育ての支援をする。								
事業内容	利用者の会のサークルによる、ピュアフェスタ（ステージ発表・作品展示・体験コーナー）を11月に開催し、生涯学習の啓発活動を行う。受講者自らが企画する企画参加型講座や、文学・手工芸・調理など多種にわたる講座を開催し、教養を深め仲間づくりをする機会とする。親子または子ども向け講座で、子どもの自主性を向上させる。各講座とも託児を行い、子育て世代の参加者を支援する。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,061 千円		1,914 千円		2,020 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,061 千円		1,914 千円		2,020 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	女性講座	コース	1	1	1	1	100.0%	1
	②	趣味・教養講座	コース	7	4	6	5	120.0%	5
	③	子育て支援講座	コース	1	3	2	2	100.0%	2
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	女性講座受講者	人	278	249	304	300	101.3%	300
	②	趣味・教養講座受講者	人	261	172	270	200	135.0%	300
	③	子育て支援講座受講者	人	110	170	76	150	50.7%	100
	2. 数値で表せない効果		(指標③) 講座参加者の託児を実施し、子育て世代の趣味・教養の幅を広げ、交流の場を提供することができる						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続				
	評価点合計	親子や子ども対象の事業は、親子でも子どもだけでも参加できるようにし、土日に開催たら定員以上の申込があった。季節の行事と時期を合わせたのも効果があった。				
	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館 係	事務事業No.	110128
事務事業名	山村留学事業			会計	一般会計
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち			款	10 項 1 目 2
施策目標	地域間交流の促進				
後期計画掲載頁	47 頁	個別計画	第6期社会教育計画		37 頁
事業期間	平成 18 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 都会から山村へ留学生を受け入れ、異年齢集団の中で物の大切さや思いやり、体験活動を通じて情操教育の向上を図る。地元の小学校児童、中学校生徒が減少し、学校運営に支障をきたしているため、山村留学生の受け入れを支援している。

事業の目的
 山村留学生を受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留学生双方の健全育成を助長する。複式学級の回避の他、各方面の教育効果の高揚を図る。情報や人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。

事業内容
 山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）		18,099 千円	18,113 千円
事業費 財源内訳	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		6,000 千円	12,600 千円	12,600 千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		12,099 千円	5,513 千円	5,400 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	受入農家数	戸	8	7	8	100.0%	8
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	山村留学児童生徒数	人	30	30	28	100.0%	28
②							
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）山村留学生と地元の児童、生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い
点数	3	3	3	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	継続	山村留学生を受け入れることにより、地元の小中学生への相乗効果が期待できる。八坂及び美麻地区の児童生徒が減少している中で、山村留学生の受け入れは学校運営に今後も必要である。				
	評価点合計					
18 / 18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110412			
事務事業名	社会教育総務一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画			8		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 社会教育の推進、美術振興の推進について、各委員から意見をいただき、各種事業へ反映していく。また、市民が主となって組織され、継続的に開催している事業への負担金を支出し、協働による事業実施を支援している。

事業の目的
 市が行う各種事業を、より市民に参加いただける事業として開催できるように、意見をいただきながら取り組む。また、市民が自主的に継続して取り組んでいる事業への支援を行う。

事業内容
 社会教育委員会議を社会教育施設を廻りながら年5回開催し、施設の取組みや課題について意見をいただいている。市民の自主的で継続して開催している事業への支援は、第11回雪形まつりへ1,300千円、大町こどもまつりへ122千円、安曇野アートライン推進協議会へ150千円を負担金として支出している。ほかには、成人式を大町市、選挙管理委員会、教育委員会主催で8月15日に開催している。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	3,032 千円	2,900 千円	2,774 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,032 千円	2,900 千円	2,774 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	社会教育委員会議開催	回	5	5	5	100.0%	5
②	成人式の開催	回	1	1	1	100.0%	1
③	負担金の支出	箇所	3	3	3	100.0%	3

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	成人式の参加者	人	248	257	257	98.8%	260
②	雪形まつりの参加者	人	400	400	400	80.0%	500
③					-	-	
2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 北アルプス雪形まつりは市民が企画運営し、自ら参加するイベントとして定着した。しかしながら、観覧者の増加が無く、より多くの市民に親しまれるお祭りとして開催内容を検討する必要がある。 社会教育委員会議はH23年度から年5回に増やし、活動する社会教育委員として取り組みを行っていただいております。H25年度には生涯学習推進プラン策定の取り組みを行っていただいた。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110413				
事務事業名	社会教育施設運営管理費					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1	
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進											
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				

事業の概要	大町公民館分室、蔵の音楽館、ギャラリー・いーずらの管理を行う。											
事業の目的	市民等によるサークル活動の活性化を図るため、施設の貸館や保守を行う。											
事業内容	囑託及び臨時職員を配置し、施設の貸館業務を行う。また、施設のエレベーターなどが安全に利用できるように、保守管理業務を委託している。											
事業費	年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			
	総事業費（決算額）		9,429 千円			9,742 千円			9,543 千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
		起債		千円			千円			千円		
		その他財源		千円			千円			千円		
		一般財源		9,429 千円			9,742 千円			9,543 千円		
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)			
	①	大町公民館分室開館日数	日	295	294	292	295	99.0%	295			
	②	蔵の音楽館開館日数	日	295	294	292	295	99.0%	295			
	③	ギャラリー開館日数	日	69	68	186	69	269.6%	69			
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)			
	①	大町公民館分室利用者数	人	26,386	25,413	24,901	26,000	95.8%	26,000			
	②	蔵の音楽館利用者	人	778	1,028	982	1,000	98.2%	1,000			
	③	ギャラリー入館者数	人	2,981	3,789	4,089	3,500	116.8%	3,500			
2. 数値で表せない効果		(指標)										
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由												

評価	項目	必要性		有効性		効率性					
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				
	点数	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である				
		3	3	3	3	3	3				
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）									
	継続	大町公民館分室は多くの利用者があるが、施設の老朽化により計画的な修繕を要する状態になってきている。ギャラリー・いーずらは民間施設を賃貸している物件であるが、内装等の修繕が必要な時期になっている。両施設とも年次計画を作成し修繕や備品更新を行いたい。									
	評価点合計										

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年係	係	事務事業No.	110414			
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	エネルギー博物館の運営費の補助金								
事業の目的	エネルギー博物館へ運営費の助成を行う。								
事業内容	運営費の助成として、11,350千円を助成する。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		11,890 千円		11,350 千円		11,350 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		11,890 千円		11,350 千円		11,350 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	開館日数	日	197	191	202	195	103.6%	200
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
	①	入館者数	人	9,708	6,978	8,447	10,000	84.5%	10,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	平成25年度の入館者数は、前年比約21%の増加となった。集客の取り組みの成果と思われるが、目標の1万人には届かなかった。また、施設の老朽化による修繕や展示品の更新についても、本年度立ち上げた懇話会の意見を聞きながら、今後の修繕・更新計画や入館者増の取り組みについて、計画的に実施していく必要がある。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110415			
事務事業名	公民館分館整備事業補助金					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁	119		頁	個別計画		第6期社会教育計画			41		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	地域住民の活動拠点となる公民館分館施設及び地域集会施設の改築、改修に対して補助金を交付し、施設整備をは図る。											
事業の目的	地域の公民館等の施設整備を図ることにより、地域住民の交流や生涯学習の場とする。											
事業内容	施設改修、改築、下水道接続などの費用に対し、事業費の1/3を補助する（上限あり）											
事業費	年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			
	総事業費（決算額）		3,263 千円			千円			2,664 千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
		起債		千円			千円			千円		
		その他財源		千円			千円			千円		
		一般財源		3,263 千円			千円			2,664 千円		
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)			
	①	改修施設数	件	2		5	5	100.0%	3			
	②											
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)			
	①					-	-					
	②											
2. 数値で表せない効果		(指標) 施設改修が行われたことにより、地域における自治会、公民館の活動拠点が整備され、それに伴って活動の継続、発展が見込まれる。										
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）												

評価	項目	必要性		有効性		効率性				
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	3	3	2	3			
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）								
	継続	地域のコミュニティ施設である公民館や集会所の施設整備は、耐震改修、下水道接続などこれからの要望が見込まれるため、今後も継続していくことが必要と考える。補助制度の周知は、連合自治会総会時や10月広報、自治会のしおりにおいて行っているものの、より工夫した周知も必要と考える。								
	評価点合計	17 / 18								

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第6期社会教育計画		40 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	子ども向け情報誌「がったつうしん」を発行し、各種体験活動やイベント情報を提供する。								
事業の目的	広く情報収集を行い、集約して市民等へ提供し、イベント等をつうじて親子のふれあい機会としてもらう。								
事業内容	「がったつうしん」を年4回、4月、7月、10月、1月に発行し市内学校及び事業所へ送付している。10月発行分は全戸配布として文化祭等のお知らせも行っている。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		754 千円		384 千円		1,137 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		754 千円		384 千円		1,137 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	がったつうしんの情報集約	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②	がったつうしん発行	回	4	4	4	4	100.0%	4
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25 (%)	(H26)	
	①					-	-		
	②					-	-		
2. 数値で表せない効果		(指標) 地域のイベント情報を定期的に提供することにより、親子と一緒に楽しむことのできる体験活動に参加することができ、市外、県外からの観光客にもイベント情報を提供できる。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い 3	普通 2	高い 3	重複なし 3	高い 3	適正である 3
	今後の方向性	方向性 継続 評価点合計 17 / 18 現在、紙ベースの発行は文化祭記事を掲載する10月～12月号のみで各戸配布し、それ以外の3回は主要施設、コンビニ等へ、市で印刷を行い約1,000部を発行し、併せて市ホームページへ掲載している。今後も同様に取り扱っていく。 H26年度にはリーダーバンクの登録更新と項目の見直しを行い、より利用しやすい制度とした。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	人権教育 係	事務事業No.	110417
事務事業名	人権教育推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち			款	10 項 4 目 10
施策目標	一人ひとりが平等で尊重される社会の形成				
後期計画掲載頁	45 頁	個別計画	第6期社会教育計画	27 頁	
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 市民一人ひとりが人権教育を通じて、人権問題を自分自身の問題としてとらえることができ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。

事業の目的
 様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し差別のない明るい市民参加と協働の町づくりを進める。

事業内容
 人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。

事業費	年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		総事業費（決算額）	千円	千円	千円	千円	
財源内訳	国庫支出金		千円	千円	千円	千円	
	県支出金		千円	千円	千円	千円	
	起債		千円	千円	千円	千円	
	その他財源		千円	千円	千円	千円	
	一般財源	2,420	千円	1,939	千円	2,049	千円

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	人権を考える市民の集い	回	5	6	6	6	100.0%	6
②	企業人権教育推進協議会	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	人権週間ポスター展示	回数	2	2	2	2	100.0%	2

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	人権を考える市民の集い	人	511	849	1,227	800	153.4%	1,300
②	企業人権教育研修会参加	人	108	98	113	150	75.3%	150
③	人権教育指定校公開授業	人	103	98	87	110	79.1%	110

2. 数値で表せない効果
 人権教育を進めることにより、市民が他の人に対する思いやりと敬意を持つことにより、地域のつながりや協力関係を構築する要因となり協働のまちづくりの推進に寄与している。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 学校人権教育研究委員会については、当初、小中学校を委員としていたが、高校、保育園、幼稚園と徐々に参加いただいて、現在、未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができるようになった。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	適正である
点数	3	2	3	2	2	3

評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	様々な機会を使い啓発を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である				
	評価点合計					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110421	
事務事業名	補導・環境浄化活動事業					会計	一般会計		
まちのテーマ	人を育むまち					款	項	目	
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進								
後期計画掲載頁	118	頁	個別計画	第6期社会教育計画				19	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 青少年センターが市内各地域等から推薦された補導委員とともに、街頭補導活動や健全育成のための啓発を行う。

事業の目的
 青少年補導委員を委嘱し、街頭補導活動、環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
 青少年補導委員79名を委嘱し、14班編成として下校時等に70回の街頭補導活動を行う。また、各種研修会を開催し青少年のおかれている現状を知っていただく。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	2,050 千円	2,978 千円	2,932 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	2,050 千円	2,978 千円	2,932 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	街頭補導活動	回	70	70	70	70	100.0%	42
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①						-	-	
②								
③								
	2. 数値で表せない効果 （指標 ） 補導委員の街頭補導活動等により、青少年の有害な環境の改善、非行防止に効果が出ている。							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18 青少年非行について大きな問題は生じていない状況にある。街頭補導の際には巡回しても子どもたちに会うことが少ないと意見を頂戴しているが、巡視活動自体が抑止効果を期待できるため、継続して活動を行っていく。ただし、補導委員の高齢化等により、一部の補導委員が活動できない傾向もあるため、H26年度においては、活動日数を若干少なくし、補導委員の負担減も図る。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110422	
事務事業名	青少年育成事業					会計			
まちのテーマ	人を育むまち					款	項	目	
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進								
後期計画掲載頁	118	頁	個別計画	第6期社会教育計画				15	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	地域全体で青少年健全育成に取り組む。								
事業の目的	地域の子どもは地域で育てるため、地域の子ども会育成会の活動支援や市民全体で青少年の健全育成に取り組む。								
事業内容	子ども会育成会の活動支援として「子ども体験学習号」を委託契約し、低廉な利用料でバスを運行している。また、8月には青少年育成市民大会を開催し、青少年健全育成に寄与された方々を表彰、青少年健全育成に係る分科会を開催して、市民全体で健全育成の取り組みを行う。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,666 千円		2,995 千円		2,798 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,666 千円		2,995 千円		2,798 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	青少年育成市民大会	回	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
	③								
	成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 H25	達成率 (%)
①		子ども体験学習号利用数	件	11	17	13	17	76%	15
②									
③									
2. 数値で表せない効果 (指標)									
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	点数	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である	
		3	3	3	3	2	3	
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）						
	継続							
	評価点合計	青少年育成市民大会は、分科会を例年より数を増やし、30人前後を1分科会として参加者が意見等の発言を行い易くした。今後も継続して開催していくが、より多くの市民に参加していただけるよう分科会の内容を時代に合ったものを設定し周知していきたい。						
	17	18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	大町公民館 係	事務事業No.	110432
事務事業名	大町公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	公民館事業の充実と自主的な活動の促進								
事業の目的	学習活動の推進、利用登録団体の登録促進と施設利用の促進								
事業内容	公民館施設の管理、施設の貸館								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		1,059 千円		1,389 千円		1,114 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		236 千円		284 千円		305 千円	
		一般財源		823 千円		1,105 千円		809 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	貸館日数	日	296	294	289	295	98.0%	294
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	利用者数	人	23,078	24,258	26,304	24,500	107%	26,500
	②	利用回数	回	1,714	1,750	1,858	1,760	106%	1,900
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	市民が利用しやすい施設補修を計画的に行っていきたい。					
	評価点合計						
	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	大町公民館 係	事務事業No.	110433
事務事業名	大町公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	学習活動の充実や文化								
事業の目的	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。								
事業内容	分館事業補助金交付、分館講座の開設支援、大町文化祭開催、北アルプス囲碁・将棋大会開催(2回)、講座の開設(外国人のための日本語教室・すくすく広場・菊づくり講座・小学生のための走り方教室など)								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費(決算額)		1,830 千円		2,153 千円		2,142 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		1,830 千円		2,153 千円		2,142 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	公民館講座開催	回	99	66	64	100	64.0%	67
	②	体育事業	回	5	4	4	-	-	4
	③	文化事業	回	3	3	3	-	-	3
	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H25)
①	公民館講座開催	人	1,411	1,093	1,970	1,200	164.2%	2,000	
②	体育事業	人	1,150	1,100	901	-	-	1,000	
③	文化事業	人	10,484	11,460	10,772	-	-	18,000	
成果指標	2. 数値で表せない効果		(指標)						
	【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	継続	未登録団体の登録の促進し、施設利用の増を図り、学習活動の推進を図ります。分館活動の中の分館講座等の促進を行っていきたい。					
	評価点合計						
	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館	係	事務事業No.	110434
事務事業名	平公民館一般経費				会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち				款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育充実と活性化					
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
地域住民の学習・文化・体育活動の拠点として、地域住民の利用に供する。

事業の目的
公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。

事業内容
地域住民の学習・文化・体育活動等への施設利用を図る。公民館講座および自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業による施設利用を図る。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	8,756 千円	8,316 千円	8,133 千円
国庫支出金	千円	千円	千円		
県支出金	千円	千円	千円		
起債	千円	千円	千円		
その他財源	千円	千円	千円		
一般財源	8,756 千円	8,316 千円	8,133 千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	貸館日数	日	312	310	327	245	133.5%	320
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	利用者数	人	32,856	31,147	25,768	30,000	85.9%	25,000
②								
③								
	2. 数値で表せない効果							
	(指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 注）貸館日数は前年度調査票でデータ転記に誤り。今回訂正した。利用者数は平成25年度より集計基準を1日の単位にした（以前は午前・午後・夜間の各区分を基準にしたため、2区分以上に渡って利用する場合に利用者数が2倍、3倍になってしまった）。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
		評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
	点数	3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	開館30年を迎え、施設・設備の老朽化が著しい。機能向上と利用環境の快適化を図るために施設・設備の改修が望まれる。改修計画を立案し、順次改修を行う。					
評価点合計	17 / 18						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館	係	事務事業No.	110435
事務事業名	平公民館活動費			会計	一般会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10	項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、地域住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習の機会提供に努めるとともに、地域住民の自主的な学習活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す。

事業内容
 地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組み講座を開設。住民の自主的な学習活動を支援するためにサークル体験を実施。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,200 千円	1,184 千円	1,226 千円
国庫支出金	千円	千円	千円		
県支出金	千円	千円	千円		
起債	千円	千円	千円		
その他財源	千円	千円	千円		
一般財源	1,200 千円	1,184 千円	1,226 千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	公民館体育事業	回	7	6	6	7	85.7%	7
②	公民館講座	コース	17	13	14	12	116.7%	12
③	自主学習活動支援	件	8	4	5	10	50.0%	10

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	体育事業参加者	人	470	840	470	900	52.2%	900
②	公民館講座受講者	人	390	392	334	390	85.6%	390
③	自主学習活動サークル	団体	72	72	72	75	96.0%	75

2. 数値で表せない効果
 （指標③）自主学習活動サークルの中には、自身の学習活動ばかりでなく、福祉施設等への慰問や独自の発表会を開催するグループもみられ、学習成果の活用がみられる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 体育事業のうち市民運動会は荒天により、平成23年度中止、平成24年度競技一部中止、平成25年度中止となった。これにより参加者数が少ない。体育事業は長い歴史があるが参加規模は減少している。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
		評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3	
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	公民館体育事業は、出場者を募るために各地区役員が苦慮する状況が顕著になっており、参加チーム数が減少、さらには競技が成立しない種目さえみられる。自治会未加入世帯の増加、少子高齢化、ライフスタイルの変化などの原因が考えられるが、コミュニティ活動の充実に資するという事業の意義を堅持しつつ、実情を勘案して立案するよう改善が求められる。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110436
事務事業名	常盤公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン	
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等 社会教育法第24条、地方自治法第244条の2第1項、大町市公民館条例	

事業の概要	施設管理の費用								
事業の目的	施設の適正管理								
事業内容	貸館事業、公民館運営審議会、施設管理業務委託、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		9,715 千円		10,274 千円		10,504 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		252 千円		297 千円		240 千円	
		一般財源		9,463 千円		9,977 千円		10,264 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	貸館日数	日	293	292	293	290	101.0%	290
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	利用件数	件	1,181	1,229	1,160	1,200	96.7%	1,200
	②	利用者	人	16,729	16,156	14,981	16,000	93.6%	16,000
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
	【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	地域コミュニティの拠点施設として必要な施設である。					
	評価点合計						
18 / 18							

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110437
事務事業名	常盤公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン	
事業期間	平成 24 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等 社会教育法	

事業の概要	地域の拠点施設として、主体的に公民館事業を実施することや、生涯学習の場・機会を提供・支援し、地域コミュニティの構築を図る。
-------	---

事業の目的	生涯学習のまちづくりと地域づくり、青少年の健全育成
-------	---------------------------

事業内容	体育事業、文化事業、講座事業、青少年健全育成、分館支援事業ほか
------	---------------------------------

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事業費 財源内訳	総事業費（決算額）		1,037 千円
国庫支出金			千円	千円	千円
県支出金			千円	千円	千円
起債			千円	千円	千円
その他財源			千円	千円	千円
一般財源			1,037 千円	1,043 千円	1,043 千円

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
活動指標	①	体育事業	回	3	3	2	3	66.7%	3	
	②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2	
	③	講座事業	回	65	44	62	50	124.0%	50	

		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
成果指標	1. 数値で表せる指標									
	①	体育事業参加者	人	1,470	1,252	440	1,300	33.8%	1,300	
	②	文化事業参加者	人	172	178	113	200	56.5%	200	
	③	講座事業参加者	延べ人数	1,642	810	1,307	1,000	130.7%	1,000	
2. 数値で表せない効果		(指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	<p style="text-align: center;">継続</p> <p style="text-align: center;">評価点合計 17 / 18</p> <p>ライフスタイルの変化などにより、地域コミュニティが希薄化していることが参加者減の原因の1つと考えられる。一方で、東日本大震災などから地域の互助・連携が見直しされている。社会環境の変化にあわせ、関心を持ってもらえるような活動内容に加え、現在の情報社会にもあわせた情報提供にも取り組み、改善を進めることが必要と考える。</p>				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課	社公民館	係	事務事業No.	110438
事務事業名	社公民館一般経費				会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち				款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要	施設管理費用								
事業の目的	施設の適正管理								
事業内容	貸館事業、公民館運営市議会、清掃業務委託、自動扉開閉装置保守点検業務委託など								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		12,346 千円		8,403 千円		8,134 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		12,346 千円		8,403 千円		8,134 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	貸館日数	日	223	199	229	210	109.0%	230
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	利用件数	件	515	398	428	400	107.0%	430
	②	利用者	人	8,278	6,945	7,010	7,000	100.1%	7,000
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	3	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	地域の拠点施設として必要な施設である。					
	評価点合計						
18 / 18							

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110439
事務事業名	社公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
地域の活動拠点施設として、主体的に公民館事業を実施したり、学習機会の提供・支援、コミュニティの構築を図る

事業の目的
生涯学習のまちづくりと地域の絆づくり

事業内容
体育事業、文化事業、講座事業、分館支援事業ほか

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	758 千円	824 千円	664 千円
国庫支出金	千円	千円	千円		
県支出金	千円	千円	千円		
起債	千円	千円	千円		
その他財源	千円	千円	千円		
一般財源	758 千円	824 千円	664 千円		

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	体育事業	回	3	3	2	3	66.7%	3
②	文化事業	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	講座事業	回	42	39	35	40	87.5%	40

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	体育事業参加者	人	598	704	575	700	82.1%	700
②	文化事業参加者	人	371	379	303	370	81.9%	350
③	講座事業参加者	延べ人数	1,167	776	741	1,000	74.1%	750
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>評価点合計 17 / 18</p> <p>少子高齢化とライフスタイルの変化により参加者減の傾向にあるが、東日本大震災以後から地域の互助、連携の意識が地域間に広がりを見せている。社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報化社会に合わせた取組みと改善が必要と考える。</p>				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104310
事務事業名	八坂公民館一般経費				会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち				款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	41	頁
事業期間	平成 18 年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	公民館の維持管理を行い、公民館活動の推進とともに地域住民の活動拠点として利用できる体制、整備を行い、利用促進を図る。								
事業の目的	公民館施設を適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。災害時の避難施設として、常に開放できるように整備を図る。								
事業内容	電気料、電話料、水道料、燃料費、清掃委託料、浄化槽点検委託料、公民館長報酬、夜間管理員賃金等を支出して施設の維持管理を行った。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		6,079 千円		5,872 千円		5,362 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		6,079 千円		5,872 千円		5,362 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	利用者	人	4,222	3,941	1,709	3,500	48.8%	1,700
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H25)
	①	登録団体	数	3	3	3	3	100.0%	3
	②								
2. 数値で表せない効果		(指標) 利用者数は伸び悩み状態であるが、地域コミュニティの拠点として事業を推進している。							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
		3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	施設には公民館長と主事の2人しかいないため、2人で会議や行事に出席している時や1人が不在の時は業務に支障をきたすことがある。また、施設の老朽化による修繕が必要である。公民館の八坂支所への移転等を含め、施設のあり方を検討していく必要がある。					
	評価点合計						
17 / 18							

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	八坂公民館 係	事務事業No.	1104311
事務事業名	八坂公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成 18 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	八坂地区の乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の学習機会の提供を行い、地域づくり、人材育成を図る。								
事業の目的	学級講座や文化、体育事業を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体づくり、仲間づくりを行い、団体、サークルの育成をめざす。								
事業内容	八坂地区市民運動会をはじめ、文化祭、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等各学級講座を実施した。山村留学を行っている育てる会と連携し、通学合宿や登山を実施した。また、育成会をはじめ団体事業、図書貸し出し、学社連携による事業を開催した。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		568 千円		930 千円		766 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		568 千円		930 千円		766 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	文化事業	6	6	4	7	57.1%	4	
	②	体育事業	4	4	4	5	80.0%	5	
③	学級講座	5	5	7	5	140.0%	7		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)	
	①	文化事業	400	400	300	400	75.0%	300	
	②	体育事業	500	400	500	500	100.0%	500	
	③	学級講座	1,000	1,000	1,100	1,000	110.0%	1,100	
2. 数値で表せない効果 (指標) 公民館事業の実施により、住民の自治能力の向上や地域住民が交流する機会の創出により、地域の活性化に寄与している。									
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 平成25年度からたけのこ保育園、八坂小学校と合同で八坂地区市民運動会を開催したが、世代間を超えた親睦と交流が図られ、元気で活力ある地域づくりに繋がった。高齢者学級は年10回開催しているが、毎回約70人の参加者があり、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。八坂地区は少子高齢化が急速に進み年々参加者も減ってきているが、各年代を対象とした公民館活動はより積極的に継続していく必要がある。				
	評価点合計	17 / 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104312
事務事業名	美麻公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第6期社会教育計画		41 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	生涯学習の基盤づくり・地域全体で取り組む子育て支援・協働を基本とした地域コミュニティの再生のための公民館事業								
事業の目的	学びの絆で地域力を高める生涯学習の推進								
事業内容	公民館長、公民館運営審議委員、元気アップ健康づくり推進支援指導員、公民館連絡調整及び研修旅費、資料代等事務用品を支出し、美麻地域公民館事業計画を検証し、地域と学校の連絡調整、並びに地域住民、特に発達段階における児童生徒の生活習慣改善に向けて地域を挙げて支援する。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		2,568 千円		4,681 千円		4,667 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		2,568 千円		4,681 千円		4,667 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	貸館日数	日	242	245	246	245	100.4%	245
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	利用件数	件	87	86	131	85	154.1%	130
	②	利用者	人	1,561	1,758	2,057	1,600	128.6%	2,000
	③								
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		3	3	2	3	3	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	<p style="text-align: center;">継続</p> <p style="text-align: center;">評価点合計 17 / 18</p> <p>第4次大町市生涯学習推進プランに沿った美麻地域公民館事業計画を検証し、コミュニティ・スクールによる地域で支える学校づくりの推進のため地域と学校の連絡調整、特に発達段階における児童生徒の生活習慣改善に向けて地域を挙げて支援する。</p>					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	美麻公民館	係	事務事業No.	1104313					
事務事業名	美麻公民館活動費						会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち						款	10	項	4	目	3	
施策目標	社会教育の充実と活性化												
後期計画掲載頁	119			頁	個別計画			第6期社会教育計画			41		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等					

事業の概要	社会や地域の要請に適合したより質の高い公民館事業の展開
-------	-----------------------------

事業の目的	地域づくり担い手育成を図るとともに、地域文化・学習の場の提供・スポーツ活動・レクリエーション等の運営に努め、生涯学習、地域づくり活動、地域課題解決の場として、参加と協働の理念に基づき各種事業を地域住民とともに企画運営し、事業を通じて住民の絆と住みよい地域の実現を目指します。生涯を通じて学ぶことは、自己を向上させ生活を高めます。私たちが生活する地域のことを考え、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習できる公民館活動を推進するとともに、地域と連携した学校づくりの普及を図っていきます。
-------	--

事業内容	次代を担う子ども達への「生活習慣の改善と体力・気力・学力向上」の取り組みに地区を上げて支援するとともに、地域の絆を深めるため災害時住民支えあいマップづくり等支援し、意識の高揚を図る。 ①各種講座・学級等の推進 ②住民交流の場の提供 ③分館事業の推進 ④学習活動の場の提供 ⑤地域担い手の育成、学校と地域が力を合わせ、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えるための仕組みづくりの支援。
------	--

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）		618 千円	723 千円
事業費 財源内訳	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		千円	千円	千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		618 千円	723 千円	839 千円

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
活動指標	① 体育事業	回	2	4	4	100.0%	4
	② 文化事業	講座	10	10	10	100.0%	10
	③						

1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
指標名		実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
成果指標	① 体育事業参加者	人	333	557	545	500	109.0%	550
	② 講座事業参加者	人	1,259	1,061	1,003	1,100	91.2%	1,000
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続	地域づくり担い手育成を図るとともに、地域文化・学習の場の提供・スポーツ活動・レクリエーション等の運営に努め、生涯学習、地域づくり活動、地域課題解決の場として、参加と協働の理念に基づき各種事業を地域住民とともに企画運営し、事業を通じて住民の絆と住みよい地域の実現を目指します。生涯を通じて学ぶことは、自己を向上させ生活を高めます。私たちが生活する地域のことを考え、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習できる公民館活動を推進するとともに、地域と連携した学校づくりの普及を図っていきます。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110442					
事務事業名	図書館管理運営一般経費						会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち						款	10	項	4	目	4	
施策目標	社会教育の充実と活性化												
後期計画掲載頁	119			頁	個別計画			第6期社会教育計画			41		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等					市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則

事業の概要	図書館の管理運営並びに図書館協議会の組織及び運営を行っている。											
事業の目的	図書館の管理運営を円滑に行い、図書館活動の推進のため、市民の生涯学習び情報の拠点の場として図書館を提供することを目的とする。											
事業内容	図書館のコンピューターシステムの保守や警備等5件の業務について、委託契約を締結し、施設の管理運営を行っている等、地域住民の読書活動として機能するよう業務を行っている。											
事業費	年度		平成23年度			平成24年度			平成25年度			
	総事業費（決算額）		28,651 千円			30,887 千円			31,704 千円			
	財源内訳	国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
		起債		千円			千円			千円		
		その他財源		千円			千円			千円		
		一般財源		28,651 千円			30,887 千円			31,704 千円		
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)			
	①	開館日	日	279	287	283	286	99.0%	282			
	②											
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値				
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)			
	①	来館者	人	44,069	42,803	40,908	44,000	93.0%	41,000			
	②											
成果指標	2. 数値で表せない効果		(指標①) ・書架の配置換え、くつろぎコーナーのテーブル等の更新、マナー向上の取り組みなど館内環境の整備を進める中で、本・雑誌・新聞等の閲覧など、図書館で終日時間を過ごす人がいるなど利用者が増加している傾向が見られる。 ・平成24年度より祝日開館をし、利用者の便宜を図っている。									
	【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）											

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
		評価	高い	高い	普通	重複なし	普通
	点数	3	3	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続	①老朽化した図書館システムの更新により利便性の向上が図れる。今後、学校図書館との連携を強化するために学校図書館においてもシステムの導入を検討する時期である。 ②平成25年度から、地震発生時の本の落下を防ぐため、児童コーナーの書棚の高い部分には落下防止シートを設置し、利用者の安全対策を図っているが、一般図書コーナーの書棚においても引き続き設置を進めていく。 ③市人口の減少や読書に変わる娯楽の多様化などにより利用者数は減少傾向にあるが、地域住民のニーズに対応すると共に図書館を生涯学習や読書活動の場として提供していくことが必要である。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	図書館 係	事務事業No.	110443
事務事業名	図書資料購入事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 4
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則					

事業の概要	図書館資料の購入。
-------	-----------

事業の目的	市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、来館者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。
-------	---

事業内容	市民のニーズに適合した資料の選定及び購入。 市民のリクエスト本の購入。 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入。 図書資料の収集、整理。 返却本の修理。
------	--

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	9,998 千円	7,927 千円	8,000 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	9,998 千円	7,927 千円	8,000 千円

活動指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値		
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	図書購入	冊	4,028	4,037	4,322	4,000	108.1%	4,000
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①					-	-	
	②							
	③							

2. 数値で表せない効果	(指標①) ポプラディアや百科事典等の実用書を多く購入した結果、図書館への興味や生涯学習の意識が高まり、専門的知識も向上したと考えられる。
--------------	---

【備考】	(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)
------	---------------------------------------

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
	今後の方向性	方向性 継続 評価点合計 17 / 18 担当部課等のコメント（事業改善案等） 図書購入費の増額により、要望の強かった大活字本、大型絵本、百科事典等の実用書の大幅な拡充が実現できたが、図書館来館者及び利用者は昨年より減少している状況であるので、来館者及び利用の増加に繋がるよう事業を検討し、改善していく必要がある。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習課 課	文化会館 係	事務事業No.	110452
事務事業名	文化会館管理運営一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 5
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第3次大町市生涯学習プラン		36 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	文化会館・サンアルプス大町の施設の管理、運営を行う。								
事業の目的	文化会館・サンアルプス大町の施設を安全、適正に管理、運営を行う。文化会館の舞台機構等設備を計画的に順次更新する。								
事業内容	文化会館運営委員会の開催、文化会館等管理臨時職員賃金、文化会館等需用費、文化会館等役務費、文化会館等委託料(清掃・空調保守点検・舞台音響保守点検・舞台照明保守点検・舞台機構保守点検・警備・エレベーター・自動ドア等)工事請負費(電動ライトバン電動機構等改修工事)								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費(決算額)		65,633 千円		63,021 千円		71,340 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		4,998 千円		5,021 千円		4,915 千円	
		一般財源		60,635 千円		58,000 千円		66,425 千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	貸館日数(サン・アルプス)	日	254	255	289	296	97.6%	289
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	サン・アルプス利用者数	人	19,517	22,188	20,214	22,200	91.1%	21,000
	②	サン・アルプス利用数	回	500	498	467	500	93.4%	480
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標) 市民の芸術文化鑑賞の拠点になるように、また安全性の確保のため計画的に更新事業を進めている。						
【備考】(事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由)									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である
		3	3	3	3	1	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(事業改善案等)					
	継続 評価点合計 16 / 18	開館から26年を経過し、設備の中にも耐用年数を迎える設備もあり、保守契約を結んでいる業者からも、更新の指摘を受けている設備も少なくないこと、故障箇所が多くなってきていることから施設の修繕計画を立て、実施計画にのせていきたい。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習課	課	文化会館	係	事務事業No.	110453	
事務事業名	文化会館公演事業						会計	一般会計	
まちのテーマ	潤いのあるまち						款	10 項 4 目 5	
施策目標	歴史文化の振興								
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第3次大町市生涯学習プラン				36	頁
事業期間	平成	61	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	市民のニーズにあった舞台芸術にふれる機会を提供し、舞台芸術との出会いを通して、生きる喜びや感動を伝え、潤いのあるまちづくりを推進する。
-------	---

事業の目的	舞台芸術にふれる機会の少ない市民が気軽に楽しく芸術文化にふれあうことができるよう、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動の促進や鑑賞機会を提供する。
-------	---

事業内容	7月4日NHKBS日本のうた、7月7日七夕奇席、8月24日ふれあい拡充事業（小谷口美可子・塩見亮市内4小学校ミニコンサート）、9月5日平原綾香コンサート、10月10日劇団四季こころの劇場「はだかの王様」、12月7日ゴスフェス2013おおまち、12月22日大町市少年少女合唱団定期演奏会、3月23日劇団四季ミュージカル「桃次郎の冒険」、3月29日むつのをコンサート、2013大町市市民芸術祭（11月3日日舞・バンド・市民芸能、11月10日器楽・合唱、11月23日洋舞）、10月27日大町バレエ発表会、12月1日スマイルVo1.2
------	---

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	27,560 千円	28,137 千円	28,397 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	9,665 千円	8,007 千円	9,513 千円
		一般財源	17,895 千円	20,130 千円	18,884 千円

活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	文化会館自主事業	回	5	5	6	5	120.0%	6
	②	文化会館利用数	回	76	92	92	90	102.2%	100
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)	
	①	文化会館自主事業入場者数	人	7,378	5,170	5,341	6,500	82.2%	5,500
	②	文化会館入場者数	人	35,731	30,074	37,542	30,100	124.7%	38,000
	③								

2. 数値で表せない効果 (指標) 県・市等の各種大会、中学校吹奏楽部等の利用が多くあり、大きい舞台の練習場として貢献している。								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）								
文化会館が建設された昭和61年当時と、現在の状況と比較してみると、中信地区内にも大規模な公共文化ホールが建設され、住民が舞台芸術にふれる機会や選択肢が広がってきている。一方で、一公演あたりの集客数を増やすことが、なかなか難しくなっている。そこで、集客が見込める公演を選択し、ボランティアのホールアシスタントと協働で事業を実施している。								

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	低い	適正である
	点数	3	3	3	3	1	3
	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	施設の客席数が大規模でないことや、地域の人口が減少してきていることから集客が難しいことから、民間事業者による公演実施は期待できない。総合計画の芸術文化の振興を図るためには、文化会館の自主公演事業の果たす役割は大きい。また、県・市等の各種大会、中学校の吹奏楽部などの利用に果たす役割も大きい。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110461
事務事業名	文化財保護一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第6期社会教育計画		31 頁
事業期間	昭和 61 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等 文化財保護法・大町市文化財保護条例・文化財保護補助金交付要綱	

事業の概要
 大町市には、国・県・市指定の文化財が数多くの文化財が存在する。これら文化財の保存と継承活動を推進するとともに地域創出の資源として活用する。

事業の目的
 文化財保護の推進と地域活性化のための文化財の積極的な活用ができるよう、歴史や文化に触れ合う場を目指す。

事業内容
 文化財に関する講座・見学会の実施。
 指定文化財、未指定文化財の調査研究。
 指定文化財等の保存修理および文化財保護・活用に対する支援（保護事業助成）。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,566 千円	5,308 千円	5,186 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,566 千円	5,308 千円	5,186 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	文化財めぐり・講座等開催数	回	12	10	10	12	83.3%	12
②	文化財保護事業費助成件数	件	2	5	2	2	100.0%	4
③	指定・未指定文化財調査件数	件	6	5	5	10	50.0%	5

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	文化財めぐり・講座等参加人数	人	554	491	483	550	87.8%	550
②	文化財保護事業助成金額	円	101,000	2,385,500	1,529,000	1,529,000	100.0%	2,092,000
③	説明板・案内板設置件数	件	1	2	1	1	100.0%	2
	2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 文化財保護事業費の助成は、文化財所有者負担金が伴うことから、事業費の確保ができてから助成の判断をすることから件数・金額はその年により増減が出てくる。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18 国民・市民共有の財産と位置づけられる文化財を後世に継承していくため、保存・整備を推進・継続し、文化財所有者との連系を深めて、地域資源として活用していくことが必要である。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110462
事務事業名	遺跡発掘調査事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第6期社会教育計画		31 頁
事業期間	昭和 54 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等 文化財保護法	

事業の概要
 地中に埋もれている埋蔵文化財（遺跡）の情報を把握し、その成果を歴史教材として活用する。

事業の目的
 埋蔵文化財の保護・活用。記録保存。

事業内容
 学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	62 千円	6,620 千円	8,425 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	4,560 千円	7,650 千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	62 千円	2,060 千円	775 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	発掘調査件数	件	1	1	2	1	200.0%	1
②	試掘調査件数	件	3	5	4	5	80.0%	5
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	発掘調査面積	m ²	2,100	300	1,100	1,500	73.3%	200
②	調査遺跡内容					-	-	
③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ②）調査遺跡の内容は遺跡によって時代・範囲等に違いがあり、その成果内容も違ってくる。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
 発掘調査は、その年により、開発等の関係などにより実施件数が違ってくる。平成23年度は、緊急雇用のため人件費で約1,800万円使用しているが、予算科目の違いから事業費には含まれていない。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18 発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査、開発対象地の試掘調査に分けられ、年度により事業のばらつきがある。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110463
事務事業名	文化財センター管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第6期社会教育計画		31 頁
事業期間	平成 13 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	大町市文化財センター設置及び管理に関する条例

事業の概要	大町市に關係する歴史・民俗ほかについて学習・研究する場とする。								
事業の目的	大町市における歴史、民俗その他の資料を保管・展示・調査研究をおこない文化財保護の推進を図る拠点とする。								
事業内容	歴史・民俗資料調査研究、収蔵、企画展の実施。資料（史料）の公開。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		1,340 千円		998 千円		1,061 千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		2 千円		千円		103 千円	
		一般財源		1,338 千円		998 千円		958 千円	
活動指標			平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	企画展の開催	回	1	1	1	-	-	1
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H25)
	①	資料公開・閲覧利用者数	人	51	39	35	50	70.0%	50
	②	企画展見学者数	人	43	39	34	50	68.0%	50
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由 講座など文化財保護一般経費事業と重複する点が多く、センター管理が主となる。									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
		3	3	2	3	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	継続 評価点合計 17 / 18	他の文化財保護事業と重複する部分があることから、施設の管理、資料の保管を中心とする。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化財 係	事務事業No.	110465
事務事業名	中村家住宅管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第6期社会教育計画		31 頁
事業期間	平成 18 年 ~	平成 年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例		

事業の概要
有形文化財のうち、特に重要とされ、国重要文化財に指定された旧中村家住宅の保存と活用を図り、公開し、文化財保護を広く普及啓発する。

事業の目的
重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と歴史にふれあう場とする。

事業内容
毎年4月から11月までの8ヶ月間重要文化財建造物を公開、維持・管理を行っている。維持・管理事業として平成23年・24年度には国庫補助事業として主屋・土蔵の大規模な保存修理事業を実施。

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事業費 財源内訳	総事業費（決算額）		11,891 千円
国庫支出金			5,000 千円	12,397 千円	千円
県支出金			300 千円	743 千円	千円
起債			千円	11,600 千円	千円
その他財源			298 千円	156 千円	351 千円
一般財源			6,293 千円	1,716 千円	715 千円

				平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
活動指標	①	旧中村家住宅公開日数	日	180	160	180	180	100.0%	180
	②								
	③								

				平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
		指標名	単位	実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
成果指標	①	建造物保存修理工事	%	30	100	-	-	-	-
	②	旧中村家住宅入館者数	人	989	512	1,262	1,000	126.2%	1,000
	③								

2. 数値で表せない効果
(指標①) 旧中村家住宅主屋・土蔵の屋根を中心とした、保存修理事業を平成23・24年度で実施し、文化財建造物の保存をはかった。

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）
平成18年合併時より重要文化財公開事業を引き継いでいるが、年々見学者数が減少しつつあったが、平成25年度は、保存修理が終了し、新しく見えたためか、入館者が増となった。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3

評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>市街地から離れている場所に所在することから、中々見学者の増加は見込めないが、美麻地区と連携し継続して保護・活用に努める必要が考えられる。</p>				
	評価点合計	16 / 18				